



エコアクション21  
認証・登録番号 0007574

# 環境活動レポート



*What's the "Eco" for you?*

活動期間：平成22年7月～平成23年6月

平成23年8月26日 発行



株式会社 相生



# 目 次

1. 事業所の概要	... 1
2. 環境方針	... 2
3. 環境目標	... 3
4. 取組期間の実績	... 4
5. 環境活動計画	... 5
6. E A 2 1 実施体制	... 6
7. 環境活動の取組結果の評価	... 7
8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	... 8
9. 代表者による評価と見直し	... 9





## 事業所の概要

### 1) 事業所名及び代表者名

株式会社 相生  
取締役社長 溝口 茂

### 2) 所在地

本 社 〒848 - 0028  
佐賀県伊万里市脇田町1204番地5  
TEL 0955 - 23 - 9060  
FAX 0955 - 23 - 9061  
e-mail aioisaga@jeans.ocn.ne.jp

嬉野営業所 〒843 - 0304  
佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内甲218番地2  
TEL 0954 - 43 - 3888

### 3) 事業内容

佐賀県知事許可(特-18)3759号 土木・管・水道施設工事業  
佐賀県知事許可(般-20)3759号 造園工事業  
『管工事業・土木工事業・水道施設工事業・造園工事業』

### 4) 事業規模

項目	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
売上高	百万円	311	299	273
従業員数	人	14	20	22
床面積計	m <sup>2</sup>	379	379	379
(本社)	m <sup>2</sup>	322	322	322
(営業所)	m <sup>2</sup>	57	57	57

事業年度は7月1日起算、翌年6月30日決算

### 5) 法人設立

昭和53年 6月 5日

### 6) 資本金

20百万円



## 環 境 方 針

私達は管・土木・水道施設・造園工事等を通じ、「住みよい環境」をつくっている反面、その副産物「環境負荷」を生じさせています。

当社は「環境負荷」から「環境付加」に替えることを目標とし、社員一人一人が環境への配慮を念頭に「地球にやさしい住みよい環境」を目指し、事業活動を行います。

### 【環境保全への行動指針】

- (1) 自動車、重機燃料の削減
- (2) 電気使用量の削減
- (3) 水資源の節減
- (4) 廃棄物の分別・リサイクル
- (5) グリーン購入の促進
- (6) 地域貢献活動

### 【法令順守】

環境関係法令はもとより、地域協定等を遵守します。  
また、この方針を全社員に周知徹底・発信し、社内外にとらわれない『大きな輪』となるよう努めます。



制定日 平成22年12月24日



株式会社 相生

取締役社長 溝口 茂

## 環 境 目 標

当社は平成21年度を基準に、下表のとおり3カ年の環境目標を設定します。  
 の項目については受注した仕事量により変動するため、売上百万円当りの環境負荷にて目標を設定します。(基準年度売上:273百万円)  
 また、bについては建設リサイクル促進により、目標値は率分を設定します。

項 目		種 別	平成21年度 (基準値)	平成22年度 (H21年度比)	平成23年度 (H21年度比)	平成24年度 (H21年度比)	
	二酸化炭素 排出量	総 量 (kg-CO <sub>2</sub> )	合 計	129,561			
			本 社	16,093			
			営 業 所	6,626			
			現 場	106,842			
		売 上 百万円当り (kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	合 計	474	459	455	450
			本 社	59	57	57	56
			営 業 所	24	23	23	23
			現 場	391	379	375	371
		削減率			-3%	-4%	-5%
		a	電力使用量	総 量 (kWh)	合 計	18,432	
本 社	16,911						
現 場	1,521						
売 上 百万円当り (kWh/百万円)	合 計			68	66	66	65
	本 社			62	60	60	59
	現 場			6	6	6	6
削減率			-3%	-4%	-5%		
b	ガリソ使用量	総 量 (ℓ)	合 計	24,891			
			本 社	4,106			
			営 業 所	2,854			
			現 場	17,931			
		売 上 百万円当り (ℓ/百万円)	合 計	91	89	87	87
			本 社	15	15	14	14
			営 業 所	10	10	10	10
			現 場	66	64	63	63
削減率			-3%	-4%	-5%		
c	軽油使用量	総量(ℓ) (現場のみ)	24,460				
		売上百万円当り (ℓ/百万円)	90	87	86	86	
		削減率			-3%	-4%	-5%
	水使用量	総 量 (m <sup>3</sup> )	合 計	191	185	183	182
			本 社	128	124	123	122
			現 場	63	61	60	60
		削減率			-3%	-4%	-5%
a	産業廃棄物 (Co・Asを除く)	総 量 (t)	合 計	28.7	27.9	27.6	27.3
			本 社	3.7	3.6	3.6	3.5
			現 場	25.0	24.3	24.0	23.8
		削減率			-3%	-4%	-5%
		b	産業廃棄物 (Co・As殻)	総排出量(t) (現場のみ)	44.7		
内リサイクル量(t) (現場のみ)	44.7						
リサイクル率	100%			100%	100%	100%	
グリーン購入	購入数(品目)	0	2	4	6		
	促進数(品目)		2	2	2		
地域貢献 (災害/消防協定)		風水害、地震等の災害時に不時出勤・応急対策					


電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成20年度実排出係数『0.374kg-CO<sub>2</sub>/kWh』を使用

## 取組期間の実績 (平成22年 7月～平成23年 6月)

-c、 -aについて、基準年度における土木工事・水道施設工事の受注が今年度は増え、建設機械の稼働や梱包材等の発生が増えたため、達成できなかったと思われます。しかしガソリンをはじめ、諸項目については各自が環境活動計画を理解している結果だと思われ、さらなる省エネルギーに努めていきたいと思います。(基準年度売上:273百万円,取組期間売上:419百万円)

項 目		種 別	平成21年度 (基準値)	平成22年度 目標値	平成22年度 実績値	達成状況	
二酸化炭素 排出量	総 量 (kg-CO <sub>2</sub> )	合 計	129,561		184,802		
		本 社	16,093		18,250		
		営 業 所	6,626		5,057		
		現 場	106,842		161,495		
	売 上 百万円当り (kg-CO <sub>2</sub> /百万円)	合 計	474	459	441		
		本 社	59	57	44		
		営 業 所	24	23	12		
削減率			-3%	-7%			
a 電力使用量	総 量 (kWh)	合 計	18,432		19,940		
		本 社	16,911		17,537		
		現 場	1,521		2,403		
	売 上 百万円当り (kWh/百万円)	合 計	68	66	48		
		現 場	6	6	6		
削減率			-3%	-29%			
b ガソリン使用量	総 量 (ℓ)	合 計	24,891		27,481		
		本 社	4,106		5,010		
		営 業 所	2,854		2,178		
		現 場	17,931		20,293		
	売 上 百万円当り (ℓ/百万円)	合 計	91	89	65		
		本 社	15	15	12		
		現 場	66	64	48		
削減率			-3%	-29%	×		
c 軽油使用量	総量 (ℓ)	(現場のみ)	24,460		42,679		
	完工日当り (ℓ/百万円)	(現場のみ)	90	87	102	×	
	削減率			-3%	+13%	×	
水使用量		総 量 (m <sup>3</sup> )	合 計	191	185	127	
			本 社	128	124	127	×
			現 場	63	61	0	
		削減率			-3%	-31%	
a 産業廃棄物 (Co・Asを除く)	総 量 (t)	合 計	28.7	27.9	62.8	×	
		本 社	3.7	3.6	2.8		
		現 場	25.0	24.3	60.0	×	
	削減率			-3%	+125%	×	
b 産業廃棄物 (Co塊・As殻)	総排出量 (t)	(現場のみ)	44.7		666.2		
	内リサイクル量 (t)	(現場のみ)	44.7		666.2		
	リサイクル率			100%	100%	100%	
グリーン購入		購入数 (品目)	0	2	4		
		達成率			100%	200%	
地域貢献 (災害/消防協定)		風水害、地震等の災害時に不時出動・応急対策					

電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の平成20年度実排出係数『0.374kg-CO<sub>2</sub>/kWh』を使用



# 環境活動計画

## 1. ガソリン・軽油等燃料費削減

車両の急発進・急加速をなくし、5秒以上の停車時にはアイドリングストップなど、エコドライブに努めます。

資材運搬において過積載防止は当然ながら、運搬ルート及び時間を見直すことで、『合い積み』運搬を推進し、人件費・燃料費・CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。

適正な空気圧、グリスアップなど細やかな点検整備を行い、耐用年数・燃費を向上させ、CO<sub>2</sub>排出削減に努めます。

工事において手直しが生じないように、進捗をチェックし、日頃から最善の工程が導けないか留意します。

## 2. 電力使用量の削減

冷暖房の設定温度は±1で約10%の消費電力差があり、夏季は26、冬季は24を基準温度とし、節電に努めます。

外出時・昼休みの消灯、未使用OA機器の電源を切ります。

## 3. 水道使用量の削減

こまめな止水を心がけ、コマ取替は節水コマを使用します。

## 4. 廃棄物の削減

現場管理に留意し、手直し等の抑制を図ります。

紙は資源であり、焼却せずに100%リサイクルを目指します。

裏面コピー・両面印刷を励行し、紙の無駄をなくします。

文書等はデータ化・保存し、ペーパーレス化を図ります。

機密(個人情報)文書はシュレッダー処理します。

シュレッダー処理するとトイレトーパー以外に再生しにくくなることに留意します。(紙繊維の切断による強度低下)

混合廃棄物は各々資源となるよう分別を心がけます。

3R (Reduce: 減量・Reuse: 再使用・Recycle: 再生利用)を意識して行動します。

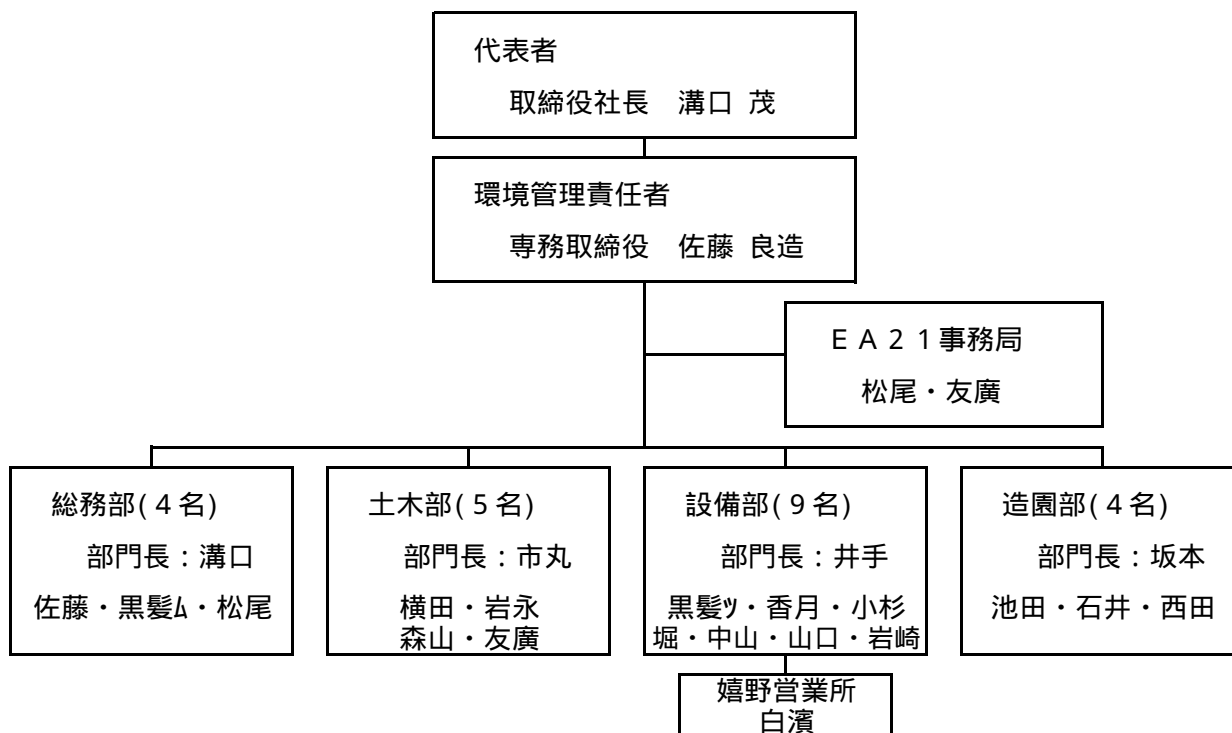
## 5. グリーン購入の促進

グリーン購入に留意した物品の選定、購入をします。

## 6. 地域貢献活動の推進

防災・消防協定を柱に地域への貢献活動を推進します。

## E A 2 1 実施体制図



### 役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ</li> <li>環境方針を作成・見直し、環境方針を含む環境文書を周知徹底する</li> <li>環境管理責任者、E A 2 1 事務局員を任命する</li> <li>環境への取組を実施するための資源を準備する</li> <li>E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる</li> <li>環境方針以外の環境文書の制改定責任者</li> <li>上記の結果を社長に報告する</li> </ul>
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・監理を行う</li> <li>社外からの環境情報の収集、伝達を行う</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する</li> <li>自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う</li> <li>自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> <li>自部門に関連する法規制等を遵守する</li> <li>自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する</li> <li>自部門の教育・訓練を実施する</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境問題への取組の重要性を自覚する</li> <li>環境活動に積極的に参加する</li> </ul>

- 1 環境記録の保存期間は5年とする。
- 2 エコアクション21報告会の開催を3ヶ月に1回とする。



## 環境活動の取組結果の評価

### 二酸化炭素排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の方針)
電気 使用量の削減 (3%)		・冷房26 暖房24 の 温度設定		目標暖房温度を守れなかったことがあったが、外出時・昼休み時の消灯を徹底し、主要OA機器には個別スイッチ電源タップを採用し節電できたと思う。夏季には屋外緑化も実施し、視覚的にも「涼」を感じられた。 今後はLED照明への転換等を行い、
		・不要照明の消灯		
		・不要OA機器の節電		
ガソリン 使用量の削減 (3%)		・エコドライブの励行		全員で取組んでいるアイドリングストップの効果が出始め、削減目標値を達成できた。今後はさらに合積み・運行ルートの検討を推進していきたい。
		・運搬方法、ルートの検討		
		・車両の点検、整備の励行		
軽油 使用量の削減 (3%)	×	・エコドライブの励行	×	最も重要な取組で、本年度は目標未達成となった。左記の『最良の工法、工程の検討』において、今後は重機運用(作業効率)を充分考慮し、実施していきたい。
		・建設機械の整備点検		
		・最良の工法、工程の検討	×	

### 水使用量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の方針)
水道 使用量の削減 (3%)		・こまめな止水の励行		本社において未達成だった。今期の取組としては既存便器をトイレ便器に取替えた。次期は設備と意識高揚で節水活動を推進していきたい。
		・節水コマの採用		

### 廃棄物排出量の削減

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の方針)
廃棄物の削減 (3%)	×	・手直し等の抑制		削減目標値は未達成となった。工事の関係上、コンクリート・アスファルト以外の廃棄物排出の増加による未達成だが、適正な処理を実施している。取組計画の各項目を今後も推進していきたい。
		・紙類のリサイクル推進		
		・両面印刷等の励行		
		・ペーパーレス化の推進		
		・混合廃棄物の分別推進		
建設廃材のリサイクル維持 (100%)		・Co塊、As殻の適正処理		今後とも再資源化率を維持する。

### グリーン購入の促進

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の方針)
グリーン購入の促進(2品目)		・グリーン購入適用品の購入		事務用品買換え時を主体に適用品の購入を促進したい。

### 地域貢献活動の推進

取組対象	達成状況	取組計画	実施状況	評価(今後の方針)
地域貢献活動		・防災、消防協定の活動		協定工の活動は無かつたが、禁忌用具の点検整備、訓練等を推進する

改善  
point



緑のカーテンで節水♪

タンクレストイレで節水!





## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規の名称	遵 守 項 目
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条	・一般廃棄物の収集・運搬・処分について、それぞれ許可を受けた業者に委託すること
第12条	・保管基準 ・収集運搬・処理委託業者との契約、許可証写しの保管 ・マニフェストの交付・保管、報告書
第16条	・投棄、焼却の禁止
建設リサイクル法 第4条、5条	・特定建設資材廃棄物の再資源化の促進 ・再資源化物の利用促進
第9条	・分別解体等実施義務
第10条	・対象建設工事の届出等
第12条	・対象建設工事の届出に係る事項の説明等
第13条	・対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項
第16条,18条	・再資源化等実施義務
第39条	・下請負人に対する元請業者の指導
騒音規制法 第3条,14条	・特定建設作業の届出 指定された機械を使用する作業
第4条	・規制基準の遵守
振動規制法 第3条,14条	・特定建設作業の届出 指定された機械を使用する作業
第4条	・規制基準の遵守
グリーン購入法	・事業者等はできる限り環境物品等の選択に努める。
オフロード法 第4条,7条 排出抑制指針	・建設機械の排ガス対策型機械の使用義務 ・燃料の選択及び点検整備の実施
自動車リサイクル法 第5条,8条,73条	・所有者の責務、使用済み自動車の引渡し義務 ・再資源化預託金等の預託義務
フロン破壊・回収法 第19条,37条,38条	・フロンの引渡し、回収・引取・委託の各書類の授受 ・フロン類の放出禁止
家電リサイクル法 第6条,11条,12条	・事業者及び消費者の責務
上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。	
また、関係機関等からの指摘、及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。	





## 代表者による評価と見直し

3月11日の東日本大震災の影響は多大で、福島第一原子力発電所事故による放射能不安・発電施設転換が余儀なくされた状況は被災地から最も遠い「九州」にも達し、近接する玄海原子力発電所の諸問題も浮き彫りとなっております。その発電施設の転換では火力発電に頼らざるを得なく、発電コストの上昇と燃料費の高騰が進んでいくと思われま

す。また、火力発電が増加すれば環境負荷が高い電力となり、これまで以上に環境を意識した節電を進めなければならないと思います。さらに節約ばかりを意識しすぎれば経済鈍化を招き、暗い将来が想像されます。

限りある資源を環境にやさしい方法で有効に使うことが時勢として望まれ、「循環型社会」「低炭素社会」「脱原発」に正面から向かい合い、燃料の削減等の環境保全への行動指針の推進は基より、煙道熱交換器「ビーハイブ」・太陽光発電システム等の設備を発信する事業所としていきます。

 **株式会社 相生**

取締役社長 溝口 茂